



平成 29 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 大成ラミック株式会社
代 表 者 の 代表取締役社長 木村 義成
役 職 氏 名 (コード番号: 4994 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員 中島 宏明
管理本部副本部長
電 話 番 号 0480-97-0224

特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別利益を計上するとともに平成 29 年 2 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,940	1,850	1,860	1,290	208.79
今回修正予想 (B)	23,940	1,970	1,960	2,800	449.90
増 減 額 (B-A)	—	120	100	1,510	
増 減 率 (%)	—	6.5	5.4	117.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	22,510	1,850	1,828	1,285	207.61

2. 特別利益の計上について

平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、当初平成 30 年 3 月期での計上を見込んでおりました当社連結子会社である Malaysia Packaging Industry Berhad (以下「MPIB」という。)における、マレーシア政府からの移転補償金額約 22 億円※において、MPIB 会計監査人および当社会計監査人との協議を重ねた結果、土地・建物等に対する移転補償金額約 15 億円については、平成 29 年 3 月期に特別利益への計上が妥当であるとの判断に至りました。

3. 連結業績予想の修正の理由

上記 2 の特別利益の計上を受け、改めて通期の業績予想を算出し見直したところ、生産設備の増設に伴う生産性の向上等により、通期における営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして前回予想を上回る見込みとなりましたので、平成 29 年 2 月 13 日に公表しました業績予想を上方修正いたします。

なお、期末配当につきましては、当初の計画通り 1 株につき 37 円（中間配当と合せ年間 70 円）を予定しております。

※ 詳細につきましては平成 28 年 12 月 2 日付「連結子会社 (Malaysia Packaging Industry Berhad) における移転に伴う補償金額に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しております。
最終の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上